

MUNAKATA
MIARE
ART FESTIVAL

宗像みあれ芸術祭 2025

能楽 × 津軽三味線 × アート



海と生きる。
幻想的な舞と音とアート、心地よいたと語りのひととき

新作能

宗像みあれ
神話海の調べ

能楽師

今村嘉太郎

御厨誠吾・野村万禄・吉住講

相原一彦・飯富章宏・白坂信行

今村哲朗・今村一夫・林本大

津軽三味線

山口ひろし

宮沢莉乃音・宮沢愛乃音・宮沢詩乃音

舞台美術協力／九州産業大学 諫見泰彦研究室

MUNAKATA MIARE ART FESTIVAL
能楽 × 津軽三味線 × アート

TICKET

【一般】4,000円 【小中高生】1,000円 ● 全席自由

※ 小学生未満の方のご入場はご遠慮ください。 ※ 当日お越しいただいた順でのご案内となります。

チケットは下記にてご購入いただけます。

- 宗像現代美術展実行委員会（島田建築設計事務所）
TEL.092-722-3310（担当古島：平日10時～18時） 事前にお電話にてご連絡後、以下の方法でチケットご購入いただけます。

〈事務所窓口受取り／福岡市中央区天神〉 〈郵送受取り／受付期間 10月31日まで〉

お電話にて詳細をお伝えしますので ご連絡いただいたお日にちより10日以内にお振込みいただき、ご入金確認後、チケットをお送りいたします。
ご来店の上お支払い（現金のみ）・お受け取りを 振込先：福岡銀行 宗像支店（普）1886331 口座名：宗像現代美術展実行委員会
※振込手数料はお客様のご負担となります。 ※チケット代金のほかに、郵送料[簡易書留：460円]が必要となります。
※チケット到着までに1週間～10日程度お時間をいただきます。

- 宗像ユリックス TEL.0940-37-1311 ※9時～17時（毎週月曜休館。祝日の場合は開館し、翌平日が休館）
- 今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会事務局 TEL.070-5416-2621 または ✉yoshitarou0423@gmail.com

- 電子チケット販売
その場で決済、スマホで入場も楽な電子チケット。
詳しくは、右記の二次元コード、または、下記のURLでご確認下さい。
<https://teket.jp/12173/55245>



▲ 電子チケット

- チケットぴあ （Pコード：536-743） セブン-イレブン店内
- ローソンチケット （Lコード：83741） ローソン店内「Loppi」

※ご購入されたチケットのキャンセル・変更はお受けいたしかねます。あらかじめご了承ください。

親子ご招待!! 50組100名限定（先着順）

宗像現代美術展実行委員会は、本格的な芸術を鑑賞・体験等によって、子どもたちの豊かな心の成長を図るとともに、将来の文化芸術の担い手や観客育成につながることを願って、本公演に、小学生以上18歳以下の親子50組100名をご招待します。詳細についてはお申込みフォームをご確認ください。



▲ 親子ご招待

ACCESS 場所：宗像ユリックス ハーモニーホール 宗像市久原400

- JR東郷駅「日の里口」から、ふれあいバス第③系統で約20分「宗像ユリックス」バス停下車
- JR東郷駅「日の里口」から、オンデマンドバス「のーと※」で「001 宗像ユリックス」下車

※ 事前に会員登録の上、アプリまたは予約専用電話 050-3185-9329
（自動音声：24時間／オペレーター：平日9:00～17:00）にて予約。
詳細は宗像ユリックスのHP(<https://yurix.munakata.com>)をご確認ください。



▲ 宗像ユリックス
アクセス

- お客様へのお願い
- 開演後・演奏中の途中入場はお断りしています。時間に余裕を持ってご来場ください。
 - 演奏中は、携帯電話・PHS等の電源は必ずお切りください。
 - 前の座席を蹴ったり、前に身を乗り出したりの行為は他のお客様のご迷惑となりますのでご遠慮ください。
 - ホール内での飲食はご遠慮ください。

お問い合わせ：宗像現代美術展実行委員会事務局 ☎080-4454-7911

主催：西日本新聞社、宗像現代美術展実行委員会

<https://miare-art.com/>

共催：宗像市、宗像市教育委員会、宗像大社

公式サイト▶



多くのご協賛により、本新作能は実現しております。心より感謝申し上げます。

特別協賛：久原本家グループ・伊豆本店

協賛：出光興産・福岡銀行・溝江建設・西日本シティ銀行・新日本製薬・トヨタ自動車九州・矢野特殊自動車・リックス・ふくや・九州電力・九電工（※10月より「クラフティア」へ）・福岡倉庫・九州旅客鉄道・全日本空輸・日本航空・西日本鉄道・木村組・ゼネラルアサヒ

2025.11.22（土）

開場 13:30 開演 14:00 〈終了予定 16:10 頃〉

会場 宗像ユリックス ハーモニーホール



ふくおか県芸術文化祭
Fukuoka Arts and Culture Festival

この事業は、空くじの収益金を活用して実施しています。



ふくおか県芸術文化祭助成事業

協賛：九州産業大学・株式会社JR博多シティ・FM FUKUOKA

後援：朝日新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・RKB毎日放送・FBS福岡放送・KBC・
テレQ・テレビ西日本・CROSS FM・LOVE FM・九州旅客鉄道株式会社・西日本鉄道株式会社

M I A R R E

古来より、航海の神として人々に敬われてきた三柱の女神。
その神話を伝える宗像の地には、
海とともに生きてきた人々の祈りと、日々の営みがあります。

本公演では、能楽師・今村嘉太郎と津軽三味線奏者・山口ひろしを中心に、
語りと音楽と舞によって、宗像の風土と人々の息づかいを描き出します。

千年を超えて受け継がれてきた信仰と物語を、
いまを生きる私たちの感性も織り交ぜながら、新たに紡ぎます。

このひとときが、何か心に残るものでありますように――
それが、「みあれ」につながる私たちの願いです。

※「みあれ」とは、神が新たに生まれ出ることを意味する言葉で、宗像大社の秋季大祭「みあれ祭」にも通じます。
ひいては、自然や人の営みをはじめ、あらゆるものの再生の力をあらわすことばとして、本公演ではそれを
芸術というかたちで表現しようとしています。

プログラム

第一部

能の舞 「海の調べ」

観世流 能楽師・今村嘉太郎、津軽三味線・山口ひろし

津軽三味線 「津軽じょんから節」 ほか

山口ひろし、宮沢三姉妹

狂言 「樋の酒」

シテ（太郎冠者）

野村

万禄

アド（主）

上杉

啓太

小アド（次郎冠者）

杉山

俊広

【解説】主人の留守、米蔵と酒蔵を任された二人。離れられない持ち場から妙案を思いつき、
酒の楽しみを分かち合うことに。さて、酔った二人は……？

〈休憩〉

第二部

解説 森弘子&山口ひろし

新异能 「みあれ」

作・森弘子 『新修宗像市史』編集・編集副委員長

シテ（田心姫）

今村嘉太郎

ワキ（船頭）

御厨 誠吾

笛 相原一彦

林本 大

アイ（海賊と呼ばれた男）

野村 万禄

小鼓 飯富章宏

地謡 今村哲朗

アイ（太郎冠者）

吉住 講

大鼓 白坂信行

今村一夫

津軽三味線

山口ひろし

【解説】海賊と呼ばれた男が、故郷・宗像の酒と肴を前にめぐらす海の記憶。やがてその情景は、漁師たちが
姫神を迎える舟を操り沖ノ島へ渡る光景へ。祭の波が最高潮に達するとき、海原は祈りで満ちわたる――。

観世流 能楽師

今村嘉太郎

IMAMURA Yoshitaro

1980年福岡生まれ福岡在住

大西智久に師事

幼少より祖父・誠、父・嘉伸に稽古を受ける

1982年 能「鞍馬天狗」初舞台

2003年 東京芸術大学卒業

2010年 独立

「千歳」「猩々乱」「石橋」「道成寺」

「望月」「安宅」「翁」を抜く

よしろう会、妙音無我、福岡能楽大連吟を主催

一般社団法人「今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会」理事

津軽三味線奏者

山口ひろし

YAMAGUCHI Hiroshi

津軽三味線を父・山口孝次に、

また青森県黒石市にて千葉勝弘に師事。

南部三味線を夏坂菊男に、長唄三味線を

東音 菊岡裕晃に学ぶ。

4歳で初舞台を踏む。1990年～1996年、

津軽三味線の大会で数々の賞を受賞。

2001年、東京藝術大学大学院 音楽研究科 修了。

以降、外務省関連公演や、スペイン・カナダ・シンガポール・

中国・パチカン・アメリカなど各国記念公演に出演。

2023年 宗像みあれ芸術祭に出演。

福岡の地にも津軽三味線の魅力を伝えている。

伝統に根ざしながら、ジャンルを超えた創作活動にも意欲的に取り組む。

津軽三味線奏者

宮沢 莉乃音・愛乃音・詩乃音

MIYAZAWA Rinon / Anon / Shinon

長野県安曇野市在住の津軽三味線三姉妹。

姉の莉乃音は全国大会での優勝を誇り、

宗像大社での奉納演奏や外国特派員協会での出演経験も。

妹の愛乃音・詩乃音も舞台や大会で活躍し、

三人の息の合った演奏は各地で好評を博す。

伝統を今に響かせる、注目の若手奏者たち。

観世流 能楽師

今村嘉太郎

津軽三味線奏者

宮沢詩乃音

宮沢莉乃音

宮沢愛乃音

津軽三味線奏者

山口ひろし